

## 年末年始のご挨拶

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。本年も取引先の皆様、従業員の皆様、ご家族、地域の皆様に多大なるご支援を賜りましたこと感謝申し上げます。2024年11月には、会社創業60周年を迎え、本業一筋で「還暦」を迎える事ができました。重ねて御礼を申し上げます。

さて、2024年も自動車業界はグローバルなレベルから大きく揺れ動く中、弊社では地域の雇用からなる生産を中心とし、地道な改善を進めてまいりました。徹底的にムリ・ムダ・ムラを省く生産とゼロベースでの会社の仕組みを見直し、時代に先駆けて高収益の体制の基礎固めができたと考えています。また、新規の取組として始めた試作事業では新規顧客との取引も開始され、世界のトップレベルシートメーカーからの評価を頂けたことに新たな希望を感じております。モデルラインを自負する稲武の本社工場には、JICAを中心とした視察をお受入れ致しました。ウクライナやウズベキスタンなどの中央アジアの方に説明する中で、改めて整理整頓やムダの無い生産など、日頃突き詰めてきたことが評価されていると感じました。今後も視察の受入れと改善支援をセットにした価値を世界に提供していきたいと考えています。

弊社が中心となって進めてきた「移住と働く・遊ぶ・住む」をパッケージにしたOPEN INABU事業は2015年の開始から10年が経ちました。初期から関わったメンバーはプロジェクトの進行と共にそれぞれの人生のステージを歩んでまいりました。10年前とは大きく変化してきた社会環境や価値観に対応しうる雇用と、魅力ある地域・職場を発信していきたいと考えています。また、新たな試みとして準備を進めてまいりました『トヨタケ道場』と呼ばれるトレーニングセンターの整備が整い、来年の一般開放を目指しております。ミシンを縫いに稲武・岩村（恵那市）に来る、そこで始める趣味と仕事によって、地域、会社と会社の関係人口を増やし、事業を支える母集団を増やしていきたいと考えています。

2025年もステークホルダーの皆様のご支援を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

皆様が健やかに新年をお迎えになりますよう心よりお祈り申し上げます。

令和6年12月27日

トヨタケ工業株式会社

代表取締役社長 横田 幸史朗